

## 平成 15 年電気学会 電力・エネルギー部門大会のご案内と論文募集 (第 2 報)

電力・エネルギー部門 (B 部門) は、会員の交流を深め活発な活動を図るため、平成 15 年部門大会を開催することになりました。つきましては、講演論文の募集について下記によりご案内いたしますので、奮ってご応募下さい。会員以外の方の発表も歓迎いたします。

**なお、今回より、講演原稿を WEB を介して PDF ファイルで送信することを可能といたしました。**

会 期 平成 15 年 8 月 6 日 (水) ~ 8 日 (金)

会 場 東京電機大学 神田キャンパス (東京都千代田区神田錦町 2-2)

論 文 電力・エネルギー部門大会では、電力とエネルギーに関する幅広い分野の論文を、部門誌への同時投稿も可能なフルペーパー査読のある論文 と、研究速報や新製品速報など速報性を重視した査読なしの論文 の 2 種類の形態で募集します。論文の対象分野は以下のとおりです。平成 15 年大会では、電力系統・機器・システムの関連技術に加え、電力・エネルギーを取り巻く時代のニーズに即し、電力自由化、分散型電源等に関わる分野も新たに設定いたしましたので、どしどしご応募ください。

(A) 電力系統の計画・運用・解析・制御 (B) 電力自由化 (C) 分散型電源 (D) 電力用機器 (E) 高電圧・絶縁現象・絶縁材料 (F) 省エネルギー・環境・代替エネルギー (G) エネルギー利用技術・エネルギー品質 (H) 国際競争力向上のための技術開発

論文は次の 2 種類とし、いずれも公募とします。

論文 : 内容のまとまった密度の濃い発表ができる和文または英文の論文。発表は 1 件 30 分程度 (質疑応答を含む) の時間をとり、討議も十分できるものとします。論文 は部門論文委員会のもとでフルペーパーの査読を経て採否を決定します。

また昨年に引き続き、B 部門誌への掲載を希望される論文は、B 部門大会と B 部門誌部門大会特集号 (平成 15 年 12 月号予定) への同時投稿として取扱い、部門誌特集号掲載に向けて迅速な査読を実施いたします。特集号に掲載予定とならなかった場合でも一般の投稿論文として部門論文委員会のもとで査読プロセスを継続させます。

論文は原則 6 ページ以内とし、6 ページを超過する場合、著者には超過分の費用をご負担願います。ページ数の上限は 14 ページとします。

論文 : 研究速報、新製品、トピックスなど迅速に発表や紹介をしたい和文または英文の論文。

発表時間は 15 分程度 (質疑応答を含む) で、2 ページとします。

論文 , とともに電気学会創立 100 周年学術振興基金による表彰の対象となります。

講演申込方法 昨年に引き続き、論文 , とともに講演の申込登録をインターネットで行います。申込登録完了後に、論文原稿をご提出いただきます。講演申し込みの際には十分ご注意ください。

インターネットを使用できない場合に講演申込を行うときは、下記の間合せ先までご連絡下さい。

講演申込登録、原稿作成・提出の詳細要領は、B 部門誌 1 月号に別途掲載いたします。

講演申込期間

論文 : 平成 15 年 1 月 15 日 (水) より 2 月 24 日 (月) 15 時まで

論文 : 平成 15 年 2 月 28 日 (金) より 4 月 4 日 (金) 15 時まで

原稿提出期限

論文 : 平成 15 年 2 月 24 日 (月) (必着)

論文 : 平成 15 年 5 月 9 日 (金) (必着)

主 催 電気学会 電力・エネルギー部門

共 催 電気学会 電気学会東京支部

その他 特別講演、懇親会、テクニカルツアーなども企画しています。

大会参加の申込み方法、プログラムなどの詳細につきましては、追って本会誌および B 部門誌に掲載いたします。

問合せ先

〒102-0076 東京都千代田区五番町 6-2 HOMAT HORIZON ビル 8F

電気学会 事業サービス第 2 課 電力・エネルギー部門大会担当

電話 03-3221-7313 Fax . 03-3221-3704

論文投稿に関するご質問 (査読システムの詳細など) については、下記までお問い合わせ下さい。

東京都立大学大学院 工学研究科 電気工学専攻 安田恵一郎 (大会論文委員会幹事)

電話: 0426-77-1111(4364) E-mail: [yasuda@eei.metro-u.ac.jp](mailto:yasuda@eei.metro-u.ac.jp)

## 講演申込登録および原稿作成・提出の詳細要領

\* 今大会（平成 15 年大会）より、投稿者各位の原稿作成ならびに原稿提出の利便性を考慮し、講演原稿の PDF 送付を可能といたしました。これにより従来の原稿提出方法等が変更となっておりますので、原稿作成ならびに原稿提出にあたり以下の要領を熟読賜りますようお願い申し上げます。

特に、論文 は、従来どおり大会論文投稿と同時に、希望により B 部門誌平成 15 年 12 月号「B 部門大会特集号」への同時投稿として査読を実施いたしますが、この場合、上記部門大会提出原稿とは別に電気学会論文誌投稿手引（<http://www.iee.or.jp/honbu/toukou/toukou.PDF>）に従いお申しいただくこととなり、部門大会原稿の提出とは別に、電気学会論文誌投稿手引きの付表 2 に記載された投稿時の提出書類を電気学会誌編修課へご提出願います。

また、講演申込ならびに原稿提出の際、部門大会・部門誌特集論文同時投稿である旨、夫々の記入欄に必ずご記入をお願いいたします。

### 1. 必要書類

#### 【インターネット講演申込登録要領】

1. 電気学会電力・エネルギー部門のホームページ（<http://www.iee.or.jp/pes/>）を、Internet Explorer 4.0 以降（4.0 以降を推奨）、又は Netscape Navigator 4.0 以降（4.0 以降を推奨）を利用して開きます。
2. 「部門大会のお知らせ」に進み、「平成 15 年電気学会電力・エネルギー部門大会講演申込」を選択します。すると、講演申込の画面が表示されますので、“新規登録”を選択します。
3. 大会コード欄に“PES03”（半角）を会員番号欄に電気学会（又は協賛学会）の会員番号（半角）を入力します。電気学会に入会手続中の場合は、会員番号を 0099999（半角）とします。
4. 登録画面が表示されますので、「入力例を見る」を参考に画面中の指示や例に従い、必要情報を入力します。使用できる文字や特殊表記等は、[付記]を参照して下さい。
5. 全て入力したら、「次へ」をクリックします。ここまでの入力内容の確認画面が表示されます。修正がある場合は前の画面に戻って修正します。登録内容の確認・修正ができましたら、「登録ボタン」をクリックします。
6. 登録が正常に受け付けられると、登録受理票が表示され、「受付番号」と「登録済内容にアクセスするためのパスワード」が発行されます。（この時点で、登録確認メールが発信されます。）登録受理票は、今後の登録内容の確認・修正や原稿の提出（送付）のときに必要ですので、画面をプリントアウトにより必ず保管して下さい。
7. 電子メールの受信を必ず確認して下さい。24 時間以内に電子メールが届かない場合は、ホームページ内にある FAQ をご確認ください。

#### 【講演原稿PDF送信】

1. トップメニューから“講演原稿PDF原稿送信”を選んでください。
2. 上記講演申込時に発行された受付番号とパスワードを半角で入力して、「次へ」をクリックしてください。
3. 「参照」ボタンをクリックして、対象のファイルを指定し、送信ボタンをクリックしてください。
4. ファイル指定欄には、直接ファイル名を入力しないで、必ず「参照」ボタンをクリックして選んでください。
5. 送信が正常に終了すると、受付終了画面が表示されます。
6. 送信が正常に終了すると、電子メールでも送信結果が配信されます。

#### <注意事項>

- 1: ファイルサイズが2MBを超えるファイルは送信することができません。
- 2: PDF送信は、必ず講演申込の手続きを済ませてから行ってください。
- 3: PDFファイルにはセキュリティ設定をかけないでください。
- 4: 必ず拡張子（\*\*\*\*.PDF）が付いたファイルを送信してください。
- 5: ファイル名やディレクトリー名は、英数または日本語のみを使用してください。  
半角カタカナ、スペース、ピリオド、スラッシュ、半角の記号  
(¥,%,&,",#,\$)などを含まないでください。

Windowsの場合、デスクトップに置いたPDFは送信されないことがあります。

Windowsの場合、My Documentに置いたPDFは送信されないことがあります。

- 6: 複数の申込がある場合でも、それぞれ発行された受付番号に対応するファイルをお送りください。
- 7: 送信されたPDFファイルは、セキュリティー上閲覧することができませんので、必ず受付終了画面が表示されることと、画面

内に表示されているファイルサイズをご確認ください。

8: 締切までに予稿集PDF原稿が送信されていない場合は、取り下げとします。

### 【PDFファイルの差し替え】

一度送信された講演原稿PDFは、受付期間中は差し替えることができます。

“講演原稿PDF送信”と同様の手順で送信してください。

新たに送信されたファイルは元のファイルに上書きされます。

差し替えとして送信されるファイル名は、以前に送られたファイル名と異なっても構いませんが、拡張子(.pdfまたは.PDF)を必ず付けてください。

### 【講演申込内容の確認・修正・取消要領】

登録済の講演申込内容は、受付期間中は確認・修正・取消が可能です。

1. 「平成 15 年電気学会電力・エネルギー部門大会講演申込」の画面から，“確認・修正”又は“取消”を選択します。
2. 新規登録時と同様に大会コードと会員番号を入力します。
3. 新規登録時に発行された受付番号とパスワードを半角で入力します。
4. 登録されている内容が表示されます。修正の場合は下の修正ボタンをクリック、必要に応じて修正して下さい。修正した場合には「登録ボタン」をクリックします。修正登録後、再度メールが配信されます。取消の場合は下の「取消ボタン」をクリックします。

### 【講演原稿を紙面で申込の場合】

予稿集原稿を紙面で投稿される方も、インターネットによる講演申込を行っていただき、登録完了画面をプリントアウトしたものを、原稿の一番前に添付して、送付してください。

### 【原稿作成要領】

添付の「見本」を参照しながら執筆下さい。さらに詳細には、電気学会雑誌平成 5 年 8 月号に掲載致しました「電気学会部門誌への投稿手引き」中の 原稿作成手引き をご参照ください。なお、最新の原稿作成手引きは電気学会のホームページ (<http://www.iee.or.jp/honbu/toukou/toukou.PDF>) にも掲載されています。

#### 1. 原稿用紙

任意の白色の A4 版用紙を使用し、余白を上 25mm，下 24mm，左右各 16mm 設けてください。

ワードプロセッサなどを利用する場合は、9 ポイント（13 級）の文字を用い、字数は片段 1 行当たり 26 字、片段 50 行、2 段組、段の間隔は 10mm としてください。

#### 2. 分量

論文 は図面、写真などを含めて 1 件 6 ページ以内を原則と致します。6 ページを超過する場合は著者には超過分の費用をご負担頂きますが、その場合も 14 ページを上限と致します。大会論文集の超過ページ費用は、1 ページ当たり 5,000 円と致します。

論文 は 2 ページ以内を厳守ください。（字数は、1 枚当り 26 字×50 行×2 段 = 2,600 字程度）

#### 3. 文字の色（紙面原稿の場合）

墨または黒インクでお書きください。タイプライタやワードプロセッサの場合も濃い黒字としてください。

#### 4. 配置

表題などを「見本」に従って ~ の順序で記入後、本文を書き始めてください。

以下の説明で「何行目」などとありますのは、1 ページ 26 字×50 行×2 段を想定しております。

表題；40 字以内。1 行分（20 字以内）の場合は、4 行目中央に記入。21 字以上で 2 行にわたる場合は 4 行目～6 行目の 3 行分の場所に適当に配置してください。

会員種別、氏名、(所属)；2 名までは 1 行に横に並べても結構です。3 名以上の場合は複数行にしてください。

英文による表題、氏名、会員種別、(所属)；左右に 3 字分のスペースを設けてください。

英文 Summary；論文 のみ記入。150～200 語で、左右に 2 字分のスペースを設けて記入ください。

キーワード；論文 のみ記入。6 個以内で、左右に 2 字分のスペースを設けて記入ください。

本文；原則として片段 1 行 26 字の 2 段組で記入。下記の順序で整理し、章の見出しのみ 2 行分を取ってください。

章：1. 節：1.1

文献；文献は本文末尾に通し番号をつけて一括記載し，本文中の該当部分には引用番号をつけてください。一般に公表されていない文書は文献として挙げないでください。文献は，著者名，題目，書名，巻，(号)，ページ，発行年(月日)を記載ください。

著者紹介；論文 でそのまま B 部門誌への掲載を希望される方は，著者紹介(顔写真と一人 133 字以内の文章)を入れて下さい。なお，著者紹介につきましては大会論文集の超過ページ費用の対象外と致します。大会論文集には著者紹介は掲載されません。

## 5. 本文

論文 ， とともに日本語または英語。英語の場合は，電気学会雑誌平成 5 年 8 月号に掲載致しました「電気学会部門誌への投稿手引き」(<http://www.iee.or.jp/honbu/toukou/toukou.PDF>)中の 原稿作成手引き をご参照ください。

## 6. 文字の大きさ

表題と氏名は見本を参照して大きく書いてください。ワードプロセッサの場合は，1 項をご参照ください。

## 7. 図及び表

原稿用紙に墨または黒インクで直接記入，ないし白または青色の方眼紙に書いたものを貼り付けても結構です(紙面原稿の場合)。

幅は 10cm(片段)分が基準ですが，特に重要な結果を示す図は最大 20cm(両段)以内で描いても結構です。

図中の文字は原則として日本語としますが，スペースが許せば英語を併記することが望ましい。

図を貼り付ける場合は，全体にのりづけせず裏面 4 辺にのりづけする。特に写真の場合は，裏面に天地を記入下さい。

図，表の表題は，日本語と英語の両方を

図 1.

表 1.

Fig.1

Table 1.

とし，

それぞれ図の下，表の上に記載。図，表の番号は，それぞれの通し番号とする。

### 【原稿提出要領】

\* 論文 は，大会論文投稿と同時に，希望により B 部門誌平成 15 年 12 月号「B 部門大会特集号」への同時投稿として査読を実施いたします。この場合，上記部門大会提出原稿とは別に電気学会論文誌投稿手引(<http://www.iee.or.jp/honbu/toukou/toukou.PDF>)に従いお申しいただくこととなり，部門大会原稿の提出とは別に，電気学会論文誌投稿手引きの付表 2 に記載された投稿時の提出書類を電気学会会誌編修課へご提出願います。

また，原稿提出の際，部門大会・部門誌特集論文同時投稿である旨，夫々の該当欄に必ずご記入をお願いいたします。

### 1. 必要書類

(講演原稿 PDF 送信の場合)

前出の【講演原稿 PDF 送信】に従いお送り下さい。

(講演原稿を紙面で申込の場合)

論文 論文 は，原紙 1 部 + A4 版コピー 2 部の合計 3 部。論文 は，原紙 1 部 + A4 版コピー 2 部の合計 3 部。

登録受理票 インターネットで講演申込を行った際に表示される登録受理票のハードコピーに，投稿論文の著作権譲渡に関する必要事項をご記入下さい。

### 2. システムに関する問合せおよび紙面原稿(電力・エネルギー部門大会)送付先

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-5-8 アカサビル 2F

トーヨー企画株式会社 電気学会 電力・エネルギー部門大会担当

e-mail : [pes@gakkai-web.net](mailto:pes@gakkai-web.net)

電話 03-3262-6605

### 3. 部門誌特集論文としての同時投稿の場合

論文投稿票 1 部

本文 3 部

和文論文要旨 3 部

Extended Summary 3 部

著作権譲渡書 1 部

これらの書類を，前出(電力・エネルギー部門大会)の提出書類とは別に，部門誌投稿用として電気学会会誌編修課へお送り下さい。

### 4. 原稿の返却

送付いただきました原稿は，不採択の場合を除き返送致しません。ご了承下さい。

## 【電子投稿用予稿集原稿について】

原稿の書き方については、上述の原稿作成要領を参照してください。

PDFファイル作成にあたって

### A) ファイル形式

電子原稿は、Adobe Acrobat Reader4.0以上で表示または印刷可能なPDF(Portable Document Format)ファイルで提出してください。

### B) ファイルサイズ(容量)の制限

ファイルサイズは、2MB以内としてください。2MBを超えると送信できません。またファイルは一つとし、圧縮ツールによる圧縮やセキュリティ設定はしないでください。

### C) ファイル名について

必ず拡張子(.pdfまたはPDF)がついているファイルをお送りください。

### D) 作成するアプリケーションとOS

原稿を作成するアプリケーションの制限はありません。OSはWindows95以上またはMacintosh 7.5以上を推奨します。

### E) PDFファイルの作成方法

PDFファイルは、原則としてAcrobat 4.0以降(または同等品)を用いて作成します。作成方法については付属のマニュアルまたはWEB上の作成方法をご覧ください。

Acrobatの詳細については<http://www.adobe.co.jp>をご覧ください。

### F) 使用できるフォントの制限

原稿内に使用するフォントは以下に限定してください。

	Windows	Macintosh
日本語フォント	MS明朝またはMSゴシック	細明朝または中ゴシック平成明朝または平成角ゴシック
英字フォント	Century, Times, Times New Roman, Helvetica, Arial, Symbol	

どうしても他の書体を使用したい場合は、フォントの埋め込みを行ってください。

### G) 使用できる文字

コンピュータの機種により文字化けが発生する可能性がありますので、漢字コードは第二水準以内の文字をお使いください。特にMacintoshをお使いの方はローマ数字や丸付き数字などの特殊記号については必ずJISコードをご利用ください。

### H) 色使い

文字も含め、色使いの制限は特にありません。ただしモノクロプリンタで出力したものを印刷原稿として利用しますので、色によっては明確に出ない場合がありますので十分注意してください。

### I) 写真や画像などの解像度

写真や画像を含む場合、PDF化することにより、出力品質が劣化することがあります。ファイルサイズ制限内で、PDF化する際のジョブオプションの値を高くして作成してください。

J) 必ずAcrobat Distillerを使って作成してください。特にイラストや画像、数式、グラフ等を含むPDFファイルの作成はPDF Writerを使用しないでください。

出来上がったPDFファイルは必ずプリントし、問題がないか確認してから送信ください。

(参考) 今後のスケジュール予定

論文 : 4月下旬 採否決定, 5月上旬 採否通知, 6月上旬 修正原稿受付締切

学会誌 5月号: 大会参加申込要領掲載

B部門誌 6月号: 大会セッション日程表掲載

B部門誌 7月号: 大会セッション詳細, プログラム速報版掲載

### 【投稿論文のカテゴリー】

\* 講演申込みの際の「投稿論文のカテゴリー」は, 下表の技術分野・技術内容からお選びください。例えば, 技術分野が「電力系統の計画・運用・解析・制御」で, 技術内容が「系統計画」の場合は(A・1)となります。

(A) 電力系統の計画・運用・解析・制御 (1) 系統計画 (2) 系統運用 (3) 需要予測 (4) 系統制御 (5) 発電機制御 (6) 安定度解析 (7) FACTS (8) 電圧安定性 (9) 解析・シミュレーション技術 (10) 潮流解析・最適潮流計算 (11) 配電システム (12) 配電方式 (13) 直流送電 (14) 系統保護制御 (15) 配電保護制御 (16) 機器保護 (17) 運用・保守技術 (18) その他関連事項
(B) 電力自由化 (1) 制度設計 (2) 電力市場の設計・解析 (3) 自由化環境下の計画・運用 (4) アンシラリーサービス (5) 電力市場の経済分析 (6) その他関連事項
(C) 分散型電源 (1) 太陽光発電 (2) 燃料電池 (3) 風力発電 (4) 電力貯蔵設備 (5) 新電力供給システム (6) 運用・解析 (7) エネルギーフロー (8) その他関連事項
(D) 電力用機器 (1) 発電機 (2) 配電用機器 (3) 変圧器 (4) 遮断器 (5) 限流器 (6) 避雷器 (7) 超電導機器 (8) GIS (9) がいし (10) 高分子がいし (11) 監視・診断装置, センサ (12) 寿命予測 (13) 送電線 (14) 電力ケーブル (15) 大容量送電 (16) 電力用コンデンサ (17) その他関連事項
(E) 高電圧・絶縁現象・絶縁材料 (1) 高電圧測定 (2) 雷 (3) 雷対策 (4) サージ現象 (5) サージ解析 (6) 遮断アーク (7) アーク現象 (8) 絶縁材料 (9) 混合ガス (10) 電界・磁界・電磁界解析ならびにシミュレーション (11) その他関連事項
(F) 省エネルギー・環境・代替エネルギー (1) RPS (2) 省エネルギー (3) リサイクル (4) 地域環境対策 (5) 地球環境対策 (6) 地熱発電 (7) 波力発電 (8) メタンハイドレート (9) 核融合 (10) その他関連事項
(G) エネルギー利用技術・エネルギー品質 (1) 新たな電気利用技術 (2) 供給形態の多様化・最適化 (3) 電力品質 (4) 高調波対策 (5) 瞬停対策 (6) その他関連事項
(H) 国際競争力向上のための技術開発 (1) 海外市場調査・分析 (2) 産学連携技術開発 (3) 低信頼度地域向け技術開発 (4) その他関連事項

### 【電力・エネルギー部門誌の掲載内容の分類】

\* 論文のうちB部門誌への掲載を希望される方は, 講演申込登録の際に, 「部門誌の掲載内容の分類」を下表の中からお選びください。なお, 上表の希望セッションとは名称が異なりますので御注意下さい。

\* B部門誌への掲載を希望しない論文 および論文の方は必要がございません。

<電力システム> b101: 電力系統計画・運用 b102: 電力系統制御 b103: 系統解析・シミュレーション b104: 系統保護 b105: 系統監視・制御システム b106: エネルギーシステム	<エネルギー変換・輸送> b201: 送配電線・電力ケーブル b202: 送配電機器, がいし b203: 開閉保護装置, 避雷器, アーク現象 b204: 変電機器 b205: 超電導機器 b206: 高電圧・雷・サージ b207: エネルギー変換・貯蔵装置 b208: その他電力用機器
--	---

### 【投稿論文の著作権について】

当大会論文集および部門誌に掲載される論文については, 著者全員は, 「電気学会部門誌への投稿の手引」の著作権・出

著作権に関する記述をご理解の上、以下の諸項にご同意願います。

- (1) 著作権の電気学会への譲渡。電子メディア化する権利、翻訳権、翻案権、二次的著作物の利用権を含む。
- (2) 論文への投稿論文に関しては、過去に公開されたことが無く、本質的な類似性を持つものも公開されたことが無く、かつ電気学会以外の出版物への公開を予定していないこと。  
注：電気学会大会論文、研究会などの本学会主催の公開技術会合で発表されたものは本項の制約とはならない。
- (3) 他の著作物の著作権を侵害していないこと。および、著作権許諾が必要な引用については無償での転載許諾を書面で得ていること。
- (4) 内容に本質的な貢献を行った人は全て著者に含まれていること。
- (5) 必要な場合には著者の所属機関のしかるべき権限を有する人の同意を得ていること。なお、本書によって著作権の譲渡を行っても、以下の権利は著者の手元に残るものとする。

\* 著作権以外の例えば特許権のような権利

\* 著者が自分の業績をまとめる際にその一部分として使用すること

\* 著者が営利を目的とせずに行う複製（例えば教育資料としての使用）

\* その他、日本の著作権法に反しない利用